



気になる Shop

# 38

## 古い商店街にアジアな空間

ベジカフェ シュ克蘭

文・写真=齊藤円華



上：自前で仕上げた店内。淡いブルーの壁が涼しげだ。店の奥には中庭もある

左：野菜をふんだんに使ったランチプレート(1000円)

下：アジアな風が吹くシュ克蘭の店先

沖縄の夏は暑い。しかも日差しが強烈だ。日中、無防備に外を歩くのは観光客くらいのもので、街は陽炎のゆらめきの中で死んだように静かである。

砂漠のオアシス——。月並みな言い回しで恥ずかしいが、糸満ロータリーからほど近い商店街にある「シュ克蘭」は、そんなイメージがぴったりだ。

もとは小さな映画館だった場所を自前で改装して、2年前にオープン。アジアかアラブのカフェに

迷い込んだかのような空気が店内に流れる。店の奥には、なんと植物が生い茂る中庭も。「昔栄えていた商店街の古い感じがアジアっぽい。その雰囲気大事にしたい」と、共同店主の藤木優子さんは話す。

沖縄県産の有機野菜を主に使ったベジメニューは、見た目のボリュームとは裏腹におなかにやさしく、チャンプルーなどの重たい沖縄料理に疲れた内臓が癒される感じがする。麴を使った発酵調味

料や梅酢などで味付けするのも特徴だ。「食べてみたらベジだった。そんなおいしいゴハンを作りたい」と話すのは、もう一人の共同店主、前田望さんだ。

酵素ジュースなどをつくる「発酵ワークショップ」を毎月開くほか、ジモトの人々や近所の商店主らと協力して、近所の公設市場を使って手作りのイベント「ちむちむ市場」を実現。3月に初めて開いてから、すでに4回も開催した。

音楽やアート、食を通じて人々が楽しむ場が生まれ、さびれた市場にも少しだけ活気が戻ってきている。

震災以降、本土から多くの人が沖縄に移り住んだという。本誌連載中のまるじゅんさんこと中園順子さんもそのひとり。居心地の良い風が抜けるこの場所は、いろいろな人が出会い、集うパワースポットになっている。

### data ベジカフェ シュ克蘭

〒901-0361 沖縄県糸満市糸満972-2  
 TEL 098-994-8005  
 営業時間／12：00～16：00 定休日／水木  
 アクセス／ゆいレール赤嶺駅からバスで25分、糸満ロータリーバス停で下車、徒歩1分  
<http://choukrane.ti-da.net/>



左から藤木優子さん、中園順子さん、前田望さん。手前は店の看板猫